

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	2013410
施設名（園名等）	小平花小金井幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

生き物

<テーマの設定理由>

生き物を飼育している・園の近隣に豊富な自然環境があるという当園の特徴を活かし、「生き物」をテーマとして設定する。当園で飼育している生き物(金魚・鯉)は、エサやりなどを通じて日頃から興味関心が高い姿が見られることから、当園やその周辺で見られる生き物の特性について、子どもたちの興味関心をさらに深めるため。

2. 活動スケジュール

9月から2月まで行い、2ヶ月に一度、園内で見つけた生き物を観察・生き物について理解・興味関心を深める機会を設ける。

9月：○園内に見つけた生き物の収集・観察

○他にどんな生き物がいるのか考察

11月：○園内で見つけた生き物を拡大して観察

○生き物ごとの特徴について発見を促す

1月：○子どもがより興味を持った生き物について深掘り探求を行う

2月：○園内外を問わず、日々の生活の中で興味を持った生き物について深掘り探求を行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【素材・道具】

電子黒板・書画カメラ・虫取り網・虫かご・エサ(魚用)

【環境の設定】

虫取り網や虫かごを子どもの手に取りやすい場所に置き、見つけたときにすぐ試せるような環境を整えた。また、見つけた虫を拡大して観察できる資料や、魚の生態をわかりやすく学べる子ども向けの資料も用意し、興味がその場で深まるようにした。

4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関りなど

- ・ 実際に見て学ぶことで興味が深まり、戸外でも生き物を探す姿が増えた。
- ・ 魚の生態について知った子が、年下の子に教えるなど、学んだことを共有する姿が見られた。
- ・ 家族でも「水族館に行った」など、生き物に関わる話題が増え、学びが園外にも広がっていた。
- ・ 魚の餌や、あげてはいけないものなど、活動で学んだ約束事をしっかり覚えていた。
- ・ 掃除をする魚の存在を知り、水槽で見つけた際に「これがそうだね」と友だち同士で確かめ合う姿が見られた。



5. 振り返り

活動を振り返る中で、子どもたちが生き物に強い興味を示し、友だち同士で教え合ったり、園外の経験と結びつけて話したりする姿が多く見られた一方で、もう少し工夫できた点も感じられた。例えば、子どもたちが見つけた気づきをその場で深められるよう、観察道具や図鑑をすぐ手に取れる場所に増やしておけば、より主体的な探究につながったかもしれない。

また、年下の子に教える姿が自然に生まれていたため、異年齢で関われる時間を意図的に設けることで、学び合いの場がさらに豊かになったと感じた。

魚や虫の世話に興味をもつ子が増えたことから、子どもたち自身が役割を決めて関われる仕組みをつくるなど、継続的な活動につながる環境づくりも今後の課題として見えてきた。